

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。

短歌

末武 有二 選

掘割の浅き水底^{みなそこ}きらめけるせせらぎのなかク
レソソ育つ 安永 守住 孝子
湧き水の流れる面はさまざまにわが影映す水
汲み^{くみ}楽し 安永 山下たか子
蠅^{はうば}梅の香り漂う宵の庭節分の豆春を迎えに
安永 川野 光子
「チュンチュン」と呼び合うごとく飛び来ては
紅梅^{はな}に遊びて雀^{すずめ}はうたう 惣領 島田 廣子
母逝きてわが家夫と二人きり母の椅子には猫
が丸まる 木山 本田 龍子
昭和期に時計回して思い出す幼きころの息子
の容姿 江津 高田芙佐子
露凝りに濡れて増したる彩りも亡夫^{ちゆうふ}が残した
鉢植えの松 宮園 島 みつき
バスの中人目構わず化粧する女一人に視線集
中 広崎 松原まゆみ
風光る今年も咲いた家の庭沈丁花の香りコロ
ナ寄せるな 赤井 鈴木 駒
目に見えぬウイルス憎し今の俺外出禁止世間
に出れず 木山 西田 正巳
よくやった郷土に賜杯もたらした感動拍手正
代関に 赤井 増岡 伸禧

俳句

河野 全平 選

成人式自撮りスマホにVサイン
さくら餅ほのかに甘し葉の薫り
朝雲の流れにとんび春近し
クーデタースーチャーさんの夜寒かな
部屋干しの窓に差し入る冬日かな
寒稽古終へし幼子抱き上げる
ねこやなぎ柔毛^{にこげ}の露に宿る春
飯田山へ花見と洒落^{しやれ}る樹水かな
落つばき耶蘇墓眠る小島かな
一句鑑賞
いざゆかん雪見に転ぶところまで
芭蕉

川柳

布田川左門 選

『お題』 自由詠
階^{きざし}の上にそびえる大天守
ウグイスもメジロも好きな梅ひらく
核兵器禁止ようやく発効す
『お題』 新庁舎
胸弾むみんな待ってる新庁舎
新築の見通しつかぬ我が居住
新庁舎熊本城に背伸びする
宮園 高見 近子
赤井 鈴木 駒
古閑 今村 恒心
木山 工藤あつ子
惣領 阪口由美子
小池 本田 賀子
惣領 野々口トミ子
赤井 増岡 伸禧
田原 辻ヶ峰子
芭蕉
廣崎のまゆみ
木山のまさみ
宮園のちかこ
飯田 山人
赤井の天才
やぶにらみ

川柳のお題 「さよなら仮設」

益城の文化財
町文化財保護委員会



福田

町指定重要文化財

皆乗寺本堂復旧工事(3)

皆乗寺本堂の復旧工事現場で、
昨年11月22日に見学会が開催され
ました。参加者たちは、専門家か
ら説明を受け、日頃は下から見上
げている屋根や彫刻などを間近に
見学し、その迫力に感動していまし
た。2月になった現在では、建設当
時の瓦を復元しての屋根ぶきなど
が行われています。

社寺建築には「木鼻」という彫刻
があります。皆乗寺には、獅子と
象の木鼻が取り付けられています。
象は、普賢菩薩^{ふげんぼさつ}の乗り物として仏
教とは縁の深い動物ですが、全国に
寺が増えた江戸時代には、象木鼻
が多く施されています。

象が初めて日本にきたのは室町
時代です。その後何度か献上され、
享保13年(1728年)には、八代
將軍吉宗^{よしむね}が発注した象2頭が、長
崎に到着しました。雌は環境の変